Wide Angle

福岡市美術館
福岡市中央区大濠公園1-6
☎092(714)6051
開館時間／9時30分～17時30分(入館17時迄)
※7～10月の金・土曜日は20時まで開館(入館は19時30分迄)
休館日／月曜日(祝日の場合はその翌日)

●#美食理箱個展
9月21日(水)～9月25日(日)　[ギャラリーE]
弁当、おせち料理、茶懐石、和菓子等約80点の写真を展示

●第8回フォトクラブnicori写真展
9月21日(水)～9月25日(日)　[ギャラリーF]
九州や日本全国の風景・祭り等約50点の写真を展示

●心象創作写真展
9月27日(火)～10月2日(日)　[ギャラリーA]
心象創作写真約40点を展示

●第52回福岡市高齢者美術展
10月12日(水)～10月2日(日)
[ギャラリーB・C・D]
洋画、日本画、書、写真、工芸を展示

●福岡市美術連盟展
10月25日(火)～10月30日(日)
[ギャラリーA・B・C・D・E・F]
日本画、絵画、彫刻、工芸、写真、グラフィックデザインの6部門を展示

アートエリア asi-para(アジパラ)
福岡市中央区今泉2-4-39拓栄ビル2F
☎090(2587)4076
開館時間／12時～19時
http://www.asi-para.com/

●なかむらみつき 写真展 THE FOUR SEASONS
9月18(日)～9月25日(日)12時～19時
※店休日9月21日(水)　最終日18時まで
女性をテーマに撮り続けるなかむらみつき、晩夏の写真展。ポートレートを中心に10点展示。

掲載中の写真展は状況により変更となることがございます。

周南市美術博物館
山口県周南市花畠町10-16
☎0834(22)8880
開館時間／9時30分～17時(入館は16時30分迄)
休館日／月曜日(休日・祝日の場合はその翌日)
http://s-bunkajp/hinaku/

●時代を撮るII「ガストリ時代」より
林忠彦記念室【常設】
7月20日(水)～10月23日(日)

●写真集発刊65周年記念「小説のふるさと」
10月25日(火)～12月28日(水)

＜銀ブラの復活＞

■観覧料／一般200円(160円)
大学生等100円(80円)
※(　)内は団体(20名以上)
※企画展観覧券で常設を併せてご覧いただけます。

福岡アジア美術館
福岡市博多区下川端町3-1
リバレインセンタービル7・8階
☎092(263)1100
ギャラリー観覧時間／9時30分～18時
※金・土曜日は20時迄 ※入室は閉室30分前迄
休館日／水曜日(休日の場合はその翌平日)

●第3回マリナーズ・アイ展
9月1日(木)～9月6日(火)
[交流ギャラリー]

●Fixtyle Portrait Fukuoka 2022
10月6日(木)～10月11日(火)
[交流ギャラリー：あじびホール]
"Fixtyle"とはFix(固定する)とStyleの造語でStyleをFixする、つまり"自分らしさ"を表現する場所としてこのポートレートグループ展の開催しております。

ギャラリーコバコ
朝倉市牛鶴109
☎0946(22)3490
開館時間／11～17時
定休日／火・水　駐車場あり
https://galleryobaco.com

●中川寛文 作品展「静かに満ちて」
9月16日(金)～9月26日(月)
温めてきた題材に新たな素材を取り入れ表現します。16日18時～オープニングコンサートby 仲野麻紀

冷泉荘ギャラリー
福岡市博多区上川端町9-35
☎092(985)4562
開館時間／10時～19時

●熾し火(おこしび)
9月6日(火)
～9月11日(日)
九州産業大学芸術学部写真学科4年生3人の最後の写真展。それぞれの個性を活かした合計100枚程の写真を展示。参加作家／木村友哉　深水優利子・山田晶

●第19回「四季瞬景」
10月13日(木)～10月18日(火)
[交流ギャラリー]

LIBRIS KOBACO
福岡市中央区大手門3-2-26　401
☎090(8395)6010
開館時間／13時～18時
店休日：火曜・水曜(祝日はオープン)

●ミズカイケイコ写真展
9月10日(土)～10月10日(月祝)
LIBRIS KOBACO三周年記念。そして、写真集出版記念展示として写真家・ミズカイケイコによる写真展『IN THE HEADLIGHTS』を開催いたします。

海凛房
福岡市西区今津8-3
☎092(401)0237
開館時間／金～火12時～18時　水・木定休
※(株)エターナルラボプリント取次店／写真展・写真の販売をご希望の方、ご連絡ください

●海凛房コレクション展vol.14「青・蒼・碧」
8月28日(日)～10月29日(土)
同じ音でも深い、日本語の多様性を10数点の写真で表してみる。
※9月2日～9月5日臨時休業いたします。

長崎県美術館
長崎市出島町2-1
☎095(833)2110
開館時間／10時～20時(入場は閉館30分前まで)
休館日／第二・第四月曜日(祝日の場合は翌日)

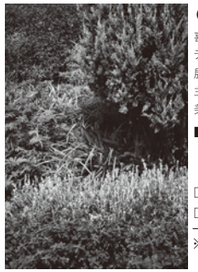
●東松照明：ブリージング・アース
7月26日(火)～10月23日(日)
[常設展示室 第4室]　入場料金：有料

●第67回長崎県美術展覧会
9月18日(日)～10月2日(日)
[県民ギャラリー]　入場料金：有料

●令和4年度長崎県高等学校文化祭
●第18回県写真展(高校写真展)
10月12日(水)～10月16日(日)
[県民ギャラリー]　入場料金：無料

●第56回日本リアリズム写真集団(JRP)長崎支部写真展
10月18日(火)～10月23日(日)

フォトガイドふくおか提携ギャラリー写真展利用者募集中！
ご利用をご希望の方はフォトガイドふくおか発行運営委員会までお問合わせ下さい。
☎090(3197)2211
info@photoguide.fun



● 表紙の展示『 "A Place For Us" 』
喜多村みか／1982福岡県出身　2008東京工芸大学大学院　芸術学研究科メディアアート専攻写真領域 修士課程修了。主にスナップショットを用いた作品を展開。2013年に初の写真集『Einmal ist Keinmal』(Therme Books)を刊行。主な受賞歴にNikon　Juna21入選、VOCA展2019(上野の森美術館)大原美術館賞など。現在は東京を拠点に制作・発表を行っている。

■発行／フォトガイドふくおか発行運営委員会
〒812-0025 福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル205
☎090-3197-2211　info@photoguide.fun
□デザイン　……神谷風花　□代表・編集長　…村上博史
□印刷　……株式会社伸和

※11・12月号の情報・広告のお申込みは
9月18日(日)～25日(日)までにご連絡ください

「思い込みからの脱却」「無意識でも辿り着く必然」

福岡大手門のLIBRIS　KOBACOでミズカイケイコさんの展覧会が開催されるとの情報を頂いた。20年以上、タイミングがあれば車中泊をしながら日本各地を旅してまわり、出会った人々や風景を撮った写真が展示されるという。コロナの流行とともに、知らない場所を自由に旅して知らない人々との交流を楽しむようなことがしづらくなった現代、当たり前のようにそこにある風景や人々の写真に魅力を感じ、取材をさせて頂いた。

ミズカイさんは東京生まれ。写真との出会いは小学校の修学旅行の時、親の一眼レフカメラを借りて撮影したことがとても楽しかったという。写真学校卒業後、写真家の平間至氏に師事し、3年の修行の後に独立。独立後は商業写真の撮影に携わりながら自身の作品も発表し写真家としてのキャリアを歩んでいる。

ミズカイさんの作品の中に被写体自身が自分のタイミングでシャッターを切る「self」というシリーズがある。商業写真を撮影する際にはクライアントの意向があり、被写体であるモデルもクライアントの意向を反映した演技を行うことになる。その様な被写体の一面的な面ではない、人が本来持っている多様な面を撮影したい。自分のシャッターを押すタイミングや選ぶ表情などにも思い込みや願望が入り込むのではないか、だから被写体自身にシャッターを切ってもらうと話してくれた。しかしその写真はけして被写体自身のセルフィーではなく、ミズカイさんとの交流の中から生まれた写真であり、それはミズカイさんだから撮れる写真であると私は感じた。

今回の展覧会では車中泊をしながら旅をし撮影を続けてきた写真が展示される。VOLVO240に乗り、自然や人やあらゆる物事、現象との出会いを、光を集めるように撮り続けた写真集。

ミズカイさんがその旅で決めていることは、行き先や会う人などを決めないということ。初めて出会う人に「あなたの会いたい人は誰ですか」と尋ね、その会いたい人に代わりに会いにいき撮影させてもらうという旅をしたことがあるという。その旅の中で出会った人は初めて出会う人のはずなのに、自分にとって出会った方が良い人と出会えている気がする旅になったという。

自分が選んでいないようにみえても、きっと無意識の中で選択を繰り返していて、最後には自分がたどり着きたいものにたどり着くということを感じることができたと話してくれた。

「写真を通して自分の枠の外、自分の気が付いていない無意識の領域にに触れられる気がするんです。」「頭で考えたものではないものを撮りたい」と話すミズカイさん。大きな流れの中で、導かれる様に多くの人や風景と出会い、今日も新しい世界との出会いを楽しまれていることだろう。

文　村上博史

Profile　ミズカイ ケイコ　*Keiko Mizukai*

東京都生まれ。写真家　平間至氏に師事。独立後は雑誌、広告、TVCMなどの撮影に携わる。車に寝泊まりしながら日本中をまわり、出会う人や風景を撮影している。現在は長野県在住。

■ 個展
2012年　写真展「LAND SCAN」　荷風
2016年　写真展「Self」富士フイルムフォトサロン東京(若手写真家応援プロジェクト)
2016年　写真展「Self」箱崎不動産「空き部屋プロジェクトW.B.G+Cafe」　福岡

■ グループ展
2017年　写真展「A.W.P Selection 2017-次世代を担う写真家たち-」
リコーイメージングスクエア銀座